

■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長
白井 信文



■ 東日本被災地への職員派遣は、 しばらくお休みに

東日本一帯の震災・津波被害から4年半が経過しました。本市も、被災地支援のため、みなさんの協力を得て、直後の40日間で義援金約1,855万円、救援物資がダンボールで約900箱集まり、それぞれのルートで現地に送り届けました。また、宮城県や福島県に、上下水道・放射線技師・消防・保健師その他事務職員の総勢47人を、一人ないし数人のグループに分け、1週間ないし10日間ずつ、約半年間にわたり派遣を続けました。そして、全国市長会の呼びかけに応じて、当時本市の建設部長だった1級建築士を宮城県の山元町に派遣することにし、平成24年10月から今年の9月末までの丸3年間、現地では主として公営住宅部門を受け持ち、文字通り復興の要として働いてもらいました。

折しも本市でも、山口東京理科大学の公立化という難問に直面し、元建設部長の存在が不可欠となったことから、山元町との了解のもと本人を説得し、何とか本市に連れ戻すことができました。

職員の派遣はしばらくお休みにしますが、東日本の更なる復興のため、本市も引き続き協力してまいります。

■ 工業統計(2014年)の速報です

2年に1度、事業所数(従業者4人以上)・出荷額等が公表されます。

今年も、昨年の速報値が公表されました。

それによると、本市は、事業所数こそ山口県下13市6町中で9位ですが、出荷額等では、周南市:1兆2,942億2,000万円、防府市:1兆996億9,100万円に次いで3位で、9,000億5,400万円にのぼり、4位:和木町(6,576億3,700万円)、5位:下関市(5,489億7,200万円)、6位:宇部市(5,064億8,500万円)を大きく引き離しています。2012年同様、本市は県下3位の「工業都市」です。

■ 今年もお世話になりました

今年は合併10周年記念事業が目白押しで、大変あわただしく、かつ充実した1年でした。市民のみなさんにも、市政の運営につき何かとご協力をいただいたこと、感謝しております。ありがとうございました。

